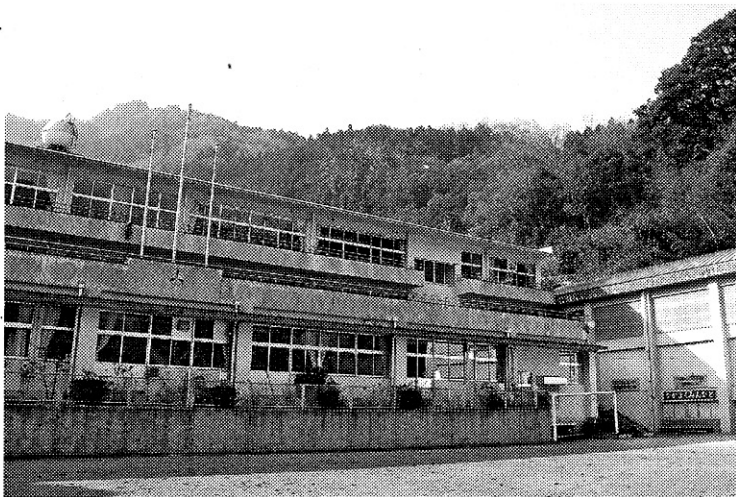


# 観光旅行拠点に再活用

りにした観光旅行「ヘルスツーリズム」の活動拠点にしたい考えで、市に提案。市は課題となっている休校施設の再活用策として検討を始めた。

吉野川市美郷地区の美郷商工会は、休校中の中枝小学校（美郷平）に観光客を受け入れ、体験・交流施設として再活用する計画をつくった。健康増進を売

## 休校中の中枝小(吉野川市)



再活用策の模索が始まった中枝小学校（吉野川市美郷平）

計画では工房や宿泊所、喫茶室を整備し、NPO法人などの形で運営。梅の収穫やソバ打ち、川遊びなどの体験メニューを用意し、梅干しや菓子など特産品の加工施設としても使う。

市の竹前晴夫産業経済部長は「商工会や地区住民の意欲を受け止め、協力したい」と話す。

だが、民間団体が校舎を使う場合、校舎改造費だけでなく、校舎建設時の補助金の返還などが必要で、財政的に大きな負担が生じ

## 市、住民と協議へ

美郷商工会計画

る。補助金の返還が特例で免除される地域再生計画の認定を国から受けなければ、計画は進められないという。市と美郷商工会は、今月中に担当者レベルで協議を始め、地区住民の意見も聞いて、計画の実現可能性を探ることとしている。

中枝小学校はホタルの研究で知られ、校舎は一九八六年に建てられた鉄筋コンクリート三階建てで、職員室や教室など計十九室もある。体育館やプールも備えているが、児童数の減少から昨年四月に休校となった。

美郷商工会では「地域の核である学校を失ったままでは地域は寂れる。再活用は地域住民に明るい希望を与えらる」としている。

梅収穫・ソバ打ち体験…